

## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東  
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉田 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月22日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	887	8.4	288	5.3	288	5.6	215	24.7
2020年3月期	819	11.1	273	29.6	273	35.1	172	14.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	42.79	42.64	18.9	22.7	32.5
2020年3月期	34.12	33.71	16.0	22.8	33.4

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,352	1,232	91.1	244.06
2020年3月期	1,189	1,047	88.1	208.84

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,232百万円 2020年3月期 1,047百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	180	△11	△31	1,101
2020年3月期	217	6	△229	964

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	35	20.5	3.3
2021年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50	42	19.9	3.8
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	8.50	8.50		20.4	

### 3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	370	—	60	—	58	—	43	—	8.55
通期	1,000	—	320	—	290	—	210	—	41.76

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期	5,168,000株	2020年3月期	5,138,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	120,028株	2020年3月期	120,028株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	5,028,991株	2020年3月期	5,058,395株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。

実際の業績等は内外の状況変化により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(損益計算書関係) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、前事業年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期、二度の緊急事態宣言の発出等により、企業の業績は悪化、個人消費も冷え込み、マイナス成長となりました。

当社を取り巻く環境においては、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期に伴いオリンピック関連案件の発注延期、海外からの観光者減少に伴い多言語案件の減少、展示会の中止等に伴い営業機会の減少等のマイナス影響があった一方で、企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途での需要が増加し、また、個人の外出自粛に伴いコンシューマー向け製品の需要が拡大しました。当社は、ポストコロナ社会を見据え、次世代音声合成エンジン「AITalk®5.0」シリーズの提供を開始、セレンス社との技術連携強化、個人向けオリジナルブランド新製品「A. I. VOICE™ 琴葉茜・葵パッケージ版」と「A. I. VOICE™ 伊織弓鶴パッケージ版」の発売を開始致しました。

当事業年度の音声合成事業の売上高は、法人向けサービスが225,085千円（前事業年度比1.9%減）と苦戦しましたが、法人向け製品が538,565千円（同7.9%増）、コンシューマー向け製品が123,914千円（同37.2%増）と伸長した結果、当事業年度の売上高は887,565千円（同8.4%増）、営業利益は288,198千円（同5.3%増）、経常利益は288,424千円（同5.6%増）、当期純利益は215,194千円（同24.7%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末と比較して162,854千円増加し、1,352,003千円となりました。これは主に、現金及び預金が136,843千円、売掛金が18,191千円増加したことによるものです。

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末と比較して21,233千円減少し、119,981千円となりました。これは主に、未払法人税等が17,783千円、未払金が5,200千円減少したことによるものです。

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末と比較して184,088千円増加し、1,232,022千円となりました。これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が215,194千円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が35,125千円減少したことによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して136,843千円増加し、1,101,358千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、180,600千円（前事業年度は217,309千円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加額18,190千円、法人税等の支払額82,600千円等があったものの、売上増加に伴う税引前当期純利益283,933千円の計上があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において投資活動により支出した資金は、11,856千円（前事業年度は6,452千円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8,780千円、無形固定資産の取得による支出3,279千円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において財務活動により支出した資金は、31,900千円（前事業年度は229,357千円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額35,072千円によるものです。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、前事業年度同様、コロナ禍の状況がしばらく続くものと考えております。このような環境の中、法人向け製品においては、「声の職人」や「声プラス」を引き続き拡販してまいります。コンシューマー向け製品においては、A. I. VOICEの新キャラクター版や英語版の開発、販売に注力してまいります。

翌事業年度（2022年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高1,000,000千円、営業利益320,000千円、経常利益290,000千円、当期純利益210,000千円を目指してまいります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（注）2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	964,515	1,101,358
売掛金	159,769	177,960
商品及び製品	-	1,138
仕掛品	-	834
原材料及び貯蔵品	1,397	1,061
前払費用	10,769	17,419
その他	1,419	366
流動資産合計	1,137,870	1,300,138
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	12,982	12,982
減価償却累計額	△3,335	△4,240
建物附属設備（純額）	9,647	8,742
工具、器具及び備品	11,978	20,099
減価償却累計額	△7,717	△12,089
工具、器具及び備品（純額）	4,261	8,010
リース資産	3,759	3,197
減価償却累計額	△1,629	△159
リース資産（純額）	2,130	3,038
有形固定資産合計	16,038	19,790
無形固定資産		
ソフトウェア	8,899	7,740
無形固定資産合計	8,899	7,740
投資その他の資産		
投資有価証券	5,656	2,460
長期前払費用	579	5,554
繰延税金資産	9,176	5,827
その他	10,927	10,490
投資その他の資産合計	26,339	24,333
固定資産合計	51,278	51,864
資産合計	1,189,149	1,352,003

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,767	8,698
リース債務	823	662
未払金	38,377	33,177
未払費用	7,626	10,263
未払法人税等	55,188	37,405
預り金	11,356	12,544
前受収益	11,234	13,581
流動負債合計	138,372	116,334
固定負債		
リース債務	1,676	2,798
長期前受収益	1,166	848
固定負債合計	2,842	3,647
負債合計	141,214	119,981
純資産の部		
株主資本		
資本金	149,471	151,481
資本剰余金		
資本準備金	119,270	121,280
その他資本剰余金	84,855	84,855
資本剰余金合計	204,125	206,135
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	346	208
繰越利益剰余金	893,752	1,073,960
利益剰余金合計	894,099	1,074,168
自己株式	△199,762	△199,762
株主資本合計	1,047,934	1,232,022
純資産合計	1,047,934	1,232,022
負債純資産合計	1,189,149	1,352,003

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高		
製品売上高	589,677	662,480
サービス収入	229,450	225,085
売上高合計	819,128	887,565
売上原価	153,209	142,245
売上総利益	665,919	745,319
販売費及び一般管理費	※1,※2 392,259	※1,※2 457,121
営業利益	273,659	288,198
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	10
講演料収入	89	36
補助金収入	-	422
営業外収益合計	99	468
営業外費用		
支払利息	120	111
為替差損	2	131
自己株式取得費用	399	-
営業外費用合計	522	242
経常利益	273,236	288,424
特別利益		
投資有価証券売却益	15,399	-
リース債務免除益	-	1,815
特別利益合計	15,399	1,815
特別損失		
固定資産除却損	※3 354	※3 1,503
投資有価証券評価損	45,134	3,195
賃貸借契約解約損	-	1,607
特別損失合計	45,488	6,306
税引前当期純利益	243,147	283,933
法人税、住民税及び事業税	74,391	65,390
法人税等調整額	△3,822	3,348
法人税等合計	70,568	68,739
当期純利益	172,578	215,194



## 【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	5,733	2.2	3,573	1.3
II 労務費		147,760	56.6	162,479	60.2
III 経費		107,713	41.2	103,793	38.5
当期総製造費用		261,206	100.0	269,846	100.0
期首仕掛品たな卸高	※2	1,118		—	
合計		262,325		269,846	
他勘定振替高		109,116		131,677	
期末仕掛品たな卸高		—		834	
期首商品及び製品たな卸高		—		—	
当期商品及び製品仕入高		—		6,049	
期末商品及び製品たな卸高		—		1,138	
当期売上原価		153,209		142,245	

原価計算の方法

実際原価による個別原価計算であります。

(注) ※1. 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
減価償却費 (千円)	7,667	5,679
外注加工費 (千円)	32,698	31,984
地代家賃 (千円)	9,259	9,912
業務委託費 (千円)	38,402	38,082

※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
研究開発費 (千円)	96,796	130,359
営業支援費 (千円)	12,132	1,003
ソフトウェア (千円)	—	208
その他 (千円)	187	104
合計 (千円)	109,116	131,677

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本									純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余 金合計				
					固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	143,601	113,400	84,855	198,255	485	761,323	761,809	△82	1,103,583	1,103,583	
当期変動額											
新株の発行 （新株予約権の行使）	5,870	5,870		5,870						11,740	11,740
固定資産圧縮積立金の 取崩					△138	138	-			-	-
剰余金の配当						△40,287	△40,287			△40,287	△40,287
当期純利益						172,578	172,578			172,578	172,578
自己株式の取得								△199,680	△199,680	△199,680	△199,680
当期変動額合計	5,870	5,870	-	5,870	△138	132,429	132,290	△199,680	△55,649	△55,649	
当期末残高	149,471	119,270	84,855	204,125	346	893,752	894,099	△199,762	1,047,934	1,047,934	

当事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本									純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余 金合計				
					固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金					
当期首残高	149,471	119,270	84,855	204,125	346	893,752	894,099	△199,762	1,047,934	1,047,934	
当期変動額											
新株の発行 （新株予約権の行使）	2,010	2,010		2,010						4,020	4,020
固定資産圧縮積立金の 取崩					△138	138	-			-	-
剰余金の配当						△35,125	△35,125			△35,125	△35,125
当期純利益						215,194	215,194			215,194	215,194
当期変動額合計	2,010	2,010	-	2,010	△138	180,207	180,068	-	184,088	184,088	
当期末残高	151,481	121,280	84,855	206,135	208	1,073,960	1,074,168	△199,762	1,232,022	1,232,022	

## （4）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当事業年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	243,147	283,933
減価償却費	12,396	11,161
投資有価証券売却損益（△は益）	△15,399	-
投資有価証券評価損益（△は益）	45,134	3,195
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	120	111
固定資産除却損	354	1,503
リース債務免除益	-	△1,815
売上債権の増減額（△は増加）	△29,019	△18,190
たな卸資産の増減額（△は増加）	368	△1,636
仕入債務の増減額（△は減少）	10,049	△5,068
未払金の増減額（△は減少）	7,294	△5,137
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	942	△572
前受収益の増減額（△は減少）	843	2,347
長期前受収益の増減額（△は減少）	1,166	△318
その他の増減額（△は減少）	△3,854	△6,199
小計	273,534	263,302
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△120	△111
法人税等の支払額	△56,114	△82,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	217,309	180,600
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,764	△8,780
無形固定資産の取得による支出	△999	△3,279
投資有価証券の売却による収入	15,400	-
出資金の回収による収入	20	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	203
敷金及び保証金の差入による支出	△203	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,452	△11,856
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,740	4,020
自己株式の取得による支出	△200,079	-
リース債務の返済による支出	△790	△848
配当金の支払額	△40,227	△35,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,357	△31,900
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,595	136,843
現金及び現金同等物の期首残高	970,110	964,515
現金及び現金同等物の期末残高	964,515	1,101,358

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (損益計算書関係)

※1 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度38.7%、当事業年度41.6%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度61.3%、当事業年度58.4%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
役員報酬	47,100千円	46,800千円
給料及び手当	78,905	98,838
研究開発費	115,133	130,359
減価償却費	4,728	5,481

## ※2 一般管理費に含まれる研究開発費の総額

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	115,133千円	130,359千円

## ※3 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
工具、器具及び備品	174千円	0千円
リース資産	—	1,503
ソフトウェア	179	—
計	354	1,503

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	法人向け製品	法人向けサービス	コンシューマー向け 製品	合計
外部顧客への売上高	499,337	229,450	90,339	819,128

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社NTTドコモ	165,215	音声合成事業

当事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	法人向け製品	法人向けサービス	コンシューマー向け 製品	合計
外部顧客への売上高	538,565	225,085	123,914	887,565

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社NTTドコモ	152,633	音声合成事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	208.84円	244.06円
1株当たり当期純利益	34.12円	42.79円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	33.71円	42.64円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	172,578	215,194
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	172,578	215,194
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,058	5,028
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	61	18
(うち新株予約権(千株))	(61)	(18)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。